



Vol. 14

2009年6月発行

編集・発行

君津中央病院

☎ 0438(36)1071

<http://www.hospital.kisarazu.chiba.jp>



理念

私たちは良質で安全な医療を提供し
地域の皆さんに親しまれ、
信頼される病院をめざします。

基本方針

1. 接遇とサービスに心がけ、心が安らぐ癒しの環境を整えます。
2. 高度で良質なわかりやすい医療を提供します。
3. 包括医療を実践し、地域との連携を大切にします。
4. 救命救急医療体制の確立と小児、周産期及び終末期医療の充実をめざします。
5. 職員の教育・研修を推進し、自己研鑽に努めます。
6. 病院で働く人が一体となり、経営の健全化と満足感のある職場をめざします。

《今号の表紙》

4月下旬から5月上旬にかけて看護師募集のため、関東、東北地方の看護学校を歴訪しました。岩手県立大学に向かう道中、雄大な景色と出会い元気付けられました。

【岩手県小岩井農場 一本桜】

放牧地となっていた100年ほど前に、暑さの苦手な牛を強い日差しから守る日陰樹として植えられたエドヒガン桜で、岩手山を背景にした美しい風景は、映画「壬生義士伝」や連続テレビ小説「どんと晴れ」のロケも行われ、話題となった絶景ポイントです。

医師看護師確保対策室 池田 倫明



認定第JC295号
(一般病院)
2004.08.23 -
2009.08.22

JCQHCとは、市民が適切で質の高い医療を安心して享受できるよう、医療機関の機能を学術的観点から評価する第三者

診療科紹介

“古くて新しい診療科” 血液・腫瘍内科

「血液・腫瘍内科」、あまり聞いたことがないけど、どんなことをする科なの?主な仕事は血液がんの治療です(表1)。血液がんはかつて“不治の病”といわれていましたが、今では、“治るがん”的代表となりました。悪性リンパ腫の半数以上が、白血病の約3割が治ります。患者さまの数が少ないので、専門病院で治療されることが多かったのですが、ようやく地域の基幹病院にも「血液内科」ができて、血液がんの治療が行われるようになりました。

君津中央病院では、新病院オープンに併せて「血液・腫瘍内科」ができました。平成15年4月に五月女隆先生が立ち上げ、平成20年4月から高木敏之が顧問となり、診療体制の整備をしているところです(写真)。五月女先生は現在、癌研有明病院 血液腫瘍科医員で、君津中央病院では毎週金曜日の外来を担当しています。末永孝生先生(亀田総合病院 血液・腫瘍内科部長)と三浦裕司先生(帝京大学ちば総合医療センター血液内科)にも、外来診療の応援をお願いしています。平成21年4月から、外来診療は週5日となり(表2)、入院診療は5階西病棟で行います。

「血液・腫瘍内科」は君津中央病院にとって、“小粒でもぴりりと辛い”なくてはならぬ診療科です。「地域がん診療連携拠点病院」に設置を義務付けられている診療科として、そして「臨床研修指定病院」に必須の診療科として。「血液・腫瘍内科」の診療体制整備は急務ですが、そのためには先ず、君津中央病院全体の診療システムの近代化・合理化が必要です。電子カルテの一時も早い導入が望まれる所以です。

(文責 血液・腫瘍内科 顧問 高木敏之)

表2 外来診療担当医師

| 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 高木 | 高木 | 三浦 | 末永 | 五月女 |



表1 診療実績(平成20年度)

| 病名 | 患者数 |
|------------------------|-----|
| 悪性リンパ腫 | 24 |
| 骨髄腫ならびに類縁疾患 | 12 |
| 急性白血病(すべて骨髄性) | 14 |
| 慢性白血病(骨髄性3、リンパ性3) | 6 |
| 骨髄異形性症候群 | 3 |
| | |
| 真性多血症 | 6 |
| 再生不良性貧血 | 3 |
| 赤芽球癭 | 3 |
| 溶血性貧血 | 3 |
| 鉄欠乏性貧血 | 5 |
| 特発性血小板減少性紫斑病 | 12 |
| | |
| ウイルス感染症(VAHS、IM症候群を含む) | 6 |
| 血球減少・增多、リンパ節腫脹、など | 40 |

平成20年4月から平成20年12月まで、新患のみ

診療科紹介

放射線科診断部門について

2006年8月発行のClover第4号では放射線治療部門を取り上げましたので、今回は放射線診断部門をクローズアップします。

当院では1階の放射線受付を中心とした場所にCT装置3台、MR装置2台、RI装置2台等多くの診断装置が稼動しています。代表的な装置について簡単に解説していきます。

[CT装置] X線を使用して全身の断層像(輪切り像)を撮像する装置です。1日平均90人前後の検査を実施しています。昨年6月に稼動した最新型の装置では心臓の血管を明瞭に描出可能で、狭心症の診断に威力を発揮しています。

(写真1参照)

[MR装置] 電磁波を利用して全身の断層像を撮像する装置です。放射線被曝がなく安全ですが、撮像に少々時間がかかります。1日平均35人前後の検査を実施しています。CT検査では描出できない早期の脳梗塞の診断に有用です。椎間板ヘルニアの検査でも頻用されます。

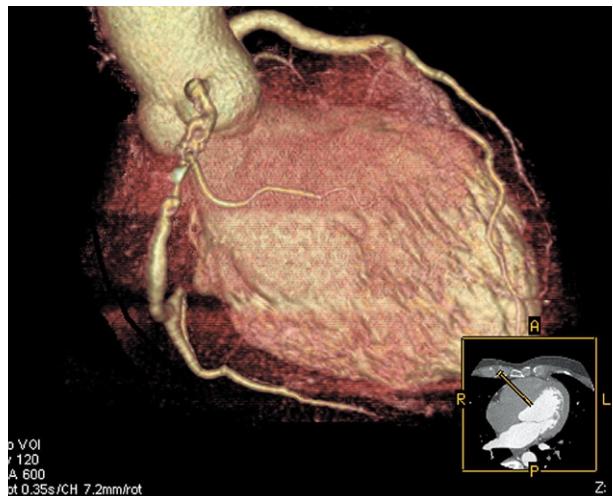
[RI装置] 放射性同位元素を使用して癌の転移や狭心症の部位の診断等を検査しています。1日数人の検査を実施しています。甲状腺バセドウ病の治療や癌の骨転移疼痛治療も実施しています。(写真2参照)

[X線テレビ装置] X線透視が可能な装置です。消化管の造影検査、脊髄造影検査、気管支鏡検査、中心静脈栄養・化学療法のカテーテル留置等の多様な手技の補助として使用しています。

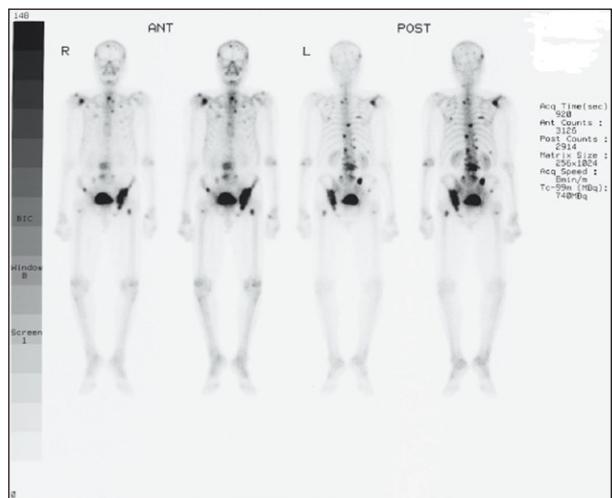
[angiography装置] 血管造影に使用するX線透視装置です。現在では多くの造影はCTで行っていますので、主に血管内治療に使用しています。

RI装置を除き24時間体制で稼動しています。各々複数の装置が設置されていますので、万が一の故障にも対応可能です。その他にも全身のレントゲン写真が取れるように多くの装置が設置されています。最近医療による放射線被曝が問題となっていますが、適正な検査を実施し、被曝の低減に努力していきたいと考えています。

放射線科部長 (兼) 放射線科科長
平田 貴



【写真1】冠動脈 3D CT画像



【写真2】多発性骨転移の疼痛が治療により消失した患者さまの骨シンチ画像



HCU（高度治療室）



**3階西病棟師長
木下順子**

こんにちは、3階西病棟師長の木下です。当病棟は、HCU（高度治療室）病棟と救急外来、そしてこの度、H21年1月19日運航開始となりました、ドクターヘリのフライトナースの勤務する病棟です。

HCU病棟というと、

聞き慣れないと思いますが、ICU（集中治療室）に入室するほど重症ではないが、一般病棟では対応困難な患者さまや、夜間の救急患者さまの入院する病棟です。

救急外来は、救命救急センターとして、重症な患者さまの受け入れをしています。救急車で搬送される交通事故・外傷・意識障害・心肺停止状態と様々な急患に対応しているスタッフは、常に緊張しながら勤務しています。その為、ピリピリした雰囲気になりがちですが、その中でも患者さま・ご家族に、思いやりを持って接することを心がけています。

また、あらゆる重症患者さまにも救急処置・看護ができるように、近隣4市の消防・救命士の方々と、救急医療の研修に積極的に取り組んでいる、とてもモチベーションの高いスタッフが多い病棟です。その中から、この度フライトナースとして8名が認定されました。

ドクターヘリの活動も、軌道にのるまでにはまだまだ時間はかかると思いますが、救命救急センターとして、安全な医療サービスが提供できるように、また地域医療に貢献できるように、「一致団結」をモットーに日々努力してまいります。



ドクターヘリ患者搬送



救急蘇生訓練



救急外来スタッフ



薬剤科 製剤室 の紹介



みなさんは製剤室という部署が病院の中にあるのは知っていますか?

薬剤科には調剤室・薬品管理室・薬剤管理指導室・医薬品情報室・製剤室とあって地下1階の一番奥にあるのが製剤室です。現在3名で業務を行っていて、窓もなく1日のほとんどをこの部屋で過ごすため天気もわからずモグラのような毎日を過ごしています。

今回はそんなモグラ達がどのような仕事をしているかを紹介したいと思います。

まず“製剤室”という名の通り点眼薬や軟膏などの各種製剤を作っています。年々製品化されているものも増えてきていますが、それでもまだ製薬企業では作られていない治療上必要な製剤を作っています。“清潔で安全な製剤”を常に心掛けています。



そして無菌室という部屋で、入院されている患者さまの点滴=TPN(中心静脈栄養)を作っています。「どうして無菌室???」というのも、このTPNは栄養が豊富なため不衛生な環境で作ると菌が増えやすくなるからです。“無菌的な環境で作る”ということが大切になります。作ったものは時間を決めて病棟ごとに払い出しています。



時間の
かかるものも
あります…



最後に現在業務の中心となりつつあるのが、外来化学療法で使用する薬剤を作ることです。平成16年7月からスタートし、件数は年々増えてきて今では1日7~20件程度を安全キャビネットという装置で防護具を着用して行っています。安全キャビネットは1台のみでこの外来業務にフル稼動しています。ですから入院患者さまの薬剤は各病棟で看護師が作っています。看護師の負担軽減やリスクマネージメントの面からも安全キャビネットの増設を現在申請中です。危険を伴う可能性もあるため“集中力と技術”を要する緊張感のある仕事といえます。患者さまの治療を少しでもサポートできるように、作るのはもちろん搬送まで細心の注意を払っています。



患者さまと直接お会いする機会は残念ながら多くありませんが、治療に貢献できるように日々頑張っています。

君津中央病院 附属看護学校 【平成22年度学生募集】

看護学校はおかげさまで、この3月6日に33回生35名の学生が卒業を迎えました。今年は学生会が卒業前の特別講演として「接遇」の講演を企画し、社会人としてのマナー・プロとしての仕事をする心構えを学びました。これから大きく成長していく姿を楽しみにしています。なお、卒業生のほとんどは君津中央病院に就職しました。

| | | |
|--------------|---------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 1. 募集人員と修業年限 | 35名 3年 | |
| 2. 応募資格 | 高等学校卒業者（見込みも含む） またそれと同等以上の学力を有すると認められる男女 | |
| 3. 推薦入試 | 平成21年10月8日（木） | |
| 4. 一般入試 | 試験科目および日程 | 第1日目：数学A・I／英語／国語 作文 第2日目：面接（第1日目の合格者のみ） |
| | 1次募集 試験日 | 平成22年1月13日（水）～1月14日（木） |
| | 2次募集 試験日 | 平成22年2月 9日（火）～2月10日（水） |

君津中央病院の「看護師等養成奨学金制度」あり 月額5万円

※詳細については、看護学校入試係までお問い合わせ下さい。

問い合わせ TEL : 0438-36-1071 (内線4850)

時間 : 9:00～17:15 (土・日・祝日を除く)



介護予防体操①

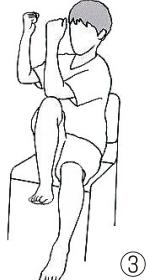
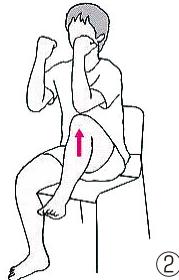
年齢とともに、からだの機能は衰えてきますが、これは加齢による原因と運動不足によるものといわれています。健やかな生活を送るため、適度な運動を心がけたいものですね。

今回は、歩行時のつまづきによる転倒を予防するため、膝を引き上げる筋力を鍛える体操をご紹介します。

＜方法＞

姿勢：椅子に腰掛ける

| | |
|------------------------|----------------------|
| ①両肘を肩の高さで曲げます。 | ④左膝を右肘につくようにゆっくり上げる。 |
| ②片膝を同側の肘につくようにゆっくり上げる。 | ⑤右膝を左肘につくようにゆっくり上げる。 |
| ③反対側の膝を肘につくようにゆっくり上げる。 | ⑥②～⑤を10回ずつ繰り返します。 |



体操の注意点

体操前は、心拍数・血圧等をチェックしましょう。以下の点に気をつけてください：痛みがあれば中止する・ゆっくりと行う・自分のペースを守る・無理をしない・呼吸を止めない

治療中の病気・既往症がある方、その他心配な点やどの程度運動してよいかわからない方は、主治医の指示を受けてから始めましょう。

引用図書：「目で見る介護予防 いきいきヘルス いっぱい体操」大田仁史著 医歯薬出版社

平成20年度 情報公開制度、個人情報保護制度の実施状況の公表について

【情報公開制度の実施状況】
企業団が保有する行政文書の開示等の実施状況

| | |
|-------|----|
| 開示請求 | 0件 |
| 開示決定 | 0件 |
| 不開示決定 | 0件 |

【個人情報保護制度の運用状況】
企業団が保有する個人情報の開示等の運用状況

| | |
|-------|----|
| 開示請求 | 0件 |
| 開示決定 | 0件 |
| 不開示決定 | 0件 |

君津中央病院 外来診療医師担当表

平成21年4月24日

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---------------------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 86 総合診療科 | 比嘉勝司 | 鈴木秀子 | 比嘉勝司 | 比嘉勝司 | 三浦正巳 |
| 83 消化器内科 | 大山奈海 駒 嘉宏 新患担当医 | 吉田 有 山田 博之 新患担当医 | 畦元亮作 丸山哲矢 新患担当医 | 近藤孝行 太和田暁之 新患担当医 | 藤森基次 大部誠道 新患担当医 |
| 89 血液・腫瘍内科 午後 | 高木敏之 | 高木敏之 | 三浦裕司 | | 五月女 隆 |
| 85 内分泌代謝科 再来 | 中村 晋 中村美波子 | 山根、鈴木(交代制) 中村 晋 | 鈴木佐和子 山根天道 | 中村美波子 鈴木佐和子 | 山根天道 中村 晋 |
| 05 脳神経外科 再来 | 交代制 岡 陽一 | 海老原幸一 須田純夫 | 興村義孝 須田純夫 | 興村義孝 磯部勝見 | 大石博通 岡 陽一 |
| 03 整形外科 新患 午前(1・3・5週) 午前(2・4週) 午後(毎日) | 蓮江文男 藤由崇之 須藤英文 交代制 | 中嶋隆行、藤由崇之 蓮江文男 田中 正 交代制 | 蓮江・藤由(脊椎・脊髄) 交代制 交代制 | 田中 正 中嶋隆行 大塚 誠 交代制 | 大塚 誠 林 隆之 林 隆之 交代制 |
| 92 緩和医療科 | | 鈴木紀彰 | | 鈴木紀彰 | |
| 02 外科 再来 午後 | 新患、再来 柳澤真司、新村兼康 柳澤真司 | 小林壯一 岡本 亮、西村真樹 重原岳雄(新患・再来) | 海保 隆 土屋俊一(乳腺) 外川 明、新村兼康 土屋俊一(乳腺) | 前田慎太郎 手術日 | 前田慎太郎 重原岳雄(新患・再来) |
| 91 形成外科 午後 | 嶋 謙一郎(新患・再来) | | | | 嶋 謙一郎(新患・再来) |
| 87 膜原病内科 | | | | 柏熊、鈴木(交代制) | |
| 17 心臓血管外科 | | 手術日 | 須藤義夫 | 手術日 | 須藤義夫 |
| 84 循環器科 午後 | 永見寿治 山本、藤本、松戸(交代制) 永見寿治、近藤祐介 | 山本雅史 永見寿治 山本雅史、芳生旭志 石川啓史 | 藤本善英 永見寿治 藤本善英、関根 泰 兵衛裕介 | 松戸裕治 藤本善英 松戸裕治、藤本善英 | 松戸裕治 山本雅史 永見寿治、外池範正 |
| 15 精神科 | 大学医師 | 小林圭介 | 大学医師 | 小林圭介 | 高瀬美咲 |
| 14 麻酔科 | 野村 明(予約のみ) | 野村 明(予約のみ) | 野村 明(予約のみ) | 野村 明(予約のみ) | 野村 明(予約のみ) |
| 90 女性専用外来 (午後のみ) | 鈴木秀子(予約のみ) | | | 鈴木秀子(予約のみ) | |
| 81 神経内科 再来 | 新患 八木下敏志行 島田 潤一郎 | 島田 潤一郎 八木下敏志行 | 氷室圭一 島田 潤一郎 | 八木下敏志行 氷室圭一 | 島田 潤一郎 八木下敏志行 |
| 04 呼吸器外科 | 柴 光年、柿澤公孝 | 佐藤行一郎 (一般・禁煙) | 柴 光年 | 柴 光年 | 柴 光年(新患のみ) 飯田智彦、長門 芳 |
| 82 呼吸器内科 | 須田 明、漆原崇司 | 篠崎 俊秀 | 矢幅美鈴、漆原崇司 | 篠崎 俊秀 | 篠崎 俊秀 |
| 10 産婦人科 再来 | 新患 神山正明 小林 治 | 中村美輪 江口 修 | 神山正明 河原井麗正(予約のみ) | 江口 修 神山正明 | 小林 治 中村美輪 |
| 95 腎臓内科 (予約のみ) (午後のみ) | 守尾一昭 長 慎一(新患のみ) | | 守尾一昭 守尾一昭(新患のみ) | 守尾一昭 守尾一昭 | 守尾一昭 |
| 08 泌尿器科 | | | | | |
| 11 眼科 紹介新患 再来(予約あり) | 紹介新患 熊谷 健 交代制 | 東條 直貴 交代制 | (予約のみ) | 大学医師 交代制 | 浅海紀子、三浦 玄 交代制 |
| 20 歯科口腔外科 | 渡邊 俊英 中嶋 大 小池 一幸 | 渡邊 俊英 中嶋 大 小池 一幸 | 渡邊 俊英 中嶋 大 小池 一幸 | 渡邊 俊英 中嶋 大 小池 一幸 | 渡邊 俊英 中嶋 大 小池 一幸 |
| 09 耳鼻咽喉科 | 上久保 出 大木 雄示 大学医師 | 高橋 直樹 大木 雄示 | (手術日) (新患のみ受付) 大学医師 | 高橋 直樹 上久保 出 | 大学医師 |
| 12 皮膚科 午後 | 稻福和宏、大津玉緒 | 稻福和宏、大津玉緒 | 大学医師、大津玉緒 フットケア外来 | 稻福、大津、ストーマ外来 (予約のみ) 交代制 | 稻福和宏、大津玉緒 |
| 16 新生児科 | 乳児検診(大曾根) (第3週のみ) | 大曾根義輝 | 乳児検診(当番制) | 大曾根義輝 | 富田美佳 |
| 06 小児外科 | 山田慎一 | 照井エレナ | (特殊外来) 交代制 | 山田慎一 | 照井エレナ |
| 07 小児科 | 田島和幸、諫訪部信一 水落弘美、石田 智己 | 藤浪綾子、平川健一郎 安達愛奈、風戸 裕子 | 佐々木 恒(1・3・5週) 森 淳夫(2・4週) 諫訪部信一、藤浪綾子 石田智己 | 田島和幸、諫訪部信一 水落弘美、安達 愛奈 | 田島 和幸、藤浪綾子 平川健一郎、風戸裕子 |
| 13 放射線治療科(リニアック) | 清水わか子 | 清水わか子 | 清水わか子 | 清水わか子 | 清水わか子 |
| 33 放射線科(RI) | 平田 貴 | 平田 貴 | 平田 貴 | 平田 貴 | 平田 貴 |
| 外来ドック | 高橋秀禎、磯部勝見 | 高橋秀禎、磯部勝見 | 高橋秀禎 | 高橋秀禎、山口敏広 | 高橋秀禎、磯部勝見 |

大佐和分院よりお知らせ

ドック受付中
0439-65-1251

核家族化や少子化が進む現在、家庭内で介護・リハビリを行っていくことはとても負担が大きいことだからこそ、地域で協力してケアをしていく時代になっていると思います。ご家族の方自身が元気で介護を続けていくためにも、上手に訪問看護・リハビリサービスを利用し、ご負担を少しでも減らしてください。そのお手伝いができるのを私たちは望んでいます。

1. 訪問看護

当院の訪問看護では、在宅療養を希望されている患者さまの病状を観察し、状況に合わせた看護サービスと介護方法のアドバイスを行い、患者さま及び介護を行っている方が、安心して在宅療養できることを目標に心のこもったケアを実践しています。

当院では、専任看護師2名で患者さまのご自宅を訪問看護しています。

月曜日から金曜日、富津市を中心として1日平均5~7件の患者さまのお宅を訪問しています。1回の訪問時間は30分以内または1時間以内です。

患者さまの病状に合わせて週1回~3回訪問していますが、時には臨時に訪問する場合もあります。

緊急時訪問看護加算に伴い、当院も24時間体制を取っています。

(土日、祭日、夜間は当直医師が対応します。)

当院では、主に介護保険での訪問看護を行っています。

訪問看護を受けている患者さまは、基本的に1ヶ月に1回の当院の医師による診察が必要です。外来診察が困難な方に限り、主治医が往診します。

詳細については、訪問看護師が説明させていただきます。お気軽に問い合わせください。

(問合せ先 大佐和分院訪問看護室または看護師長村田まで)



外来診察担当医表

【4月より一部担当医師及び曜日が変更しております】

| | 月曜日 | | 火曜日 | | 水曜日 | | 木曜日 | | 金曜日 | | 備考 |
|--------|-------------|---------------|-----------|----|--------------|-----|----------|-------|---------------|----|------------------|
| | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | |
| 内科・小児科 | 田中 庄司(涼) | | 田中 北湯口 | | 北湯口 庄司(涼) | | 田中 桐谷 | 庄司(行) | 田中 北湯口 | | |
| 循環器科 | | 山本・藤本 (交代) | | | | | | | | | 予約制 心臓超音波検査のみ |
| 神経内科 | | | | | | | | | 氷室 | | |
| 外科 | | | | | | | 朱 | | | | |
| 整形外科 | | | 保住 | | | | | | | | 予約制 |
| 皮膚科 | | | | 稻福 | | | | | | | |
| 泌尿器科 | | | | | 稻原 | | | | | | 予約制 |
| 眼科 | 佐々木 | 佐々木 | 佐々木 | | 佐々木 | 佐々木 | 佐々木 | | 石渡・古山 (交代) | | |
| 人間ドック | | | | | 田中 | | | | 山倉 | | |

受付時間
午前 8:00~11:30
午後 12:00~15:00

診療開始時間
午前 9:00~
午後 13:30~

国保直営君津中央病院大佐和分院
富津市千種新田710番地
TEL 0439-65-1251

編集後記

新年度が始まって数ヶ月が過ぎ、新人の方も職場に慣れるため忙しい日々を送られていることがあります。当院も待望の透析治療が始まり、更によりよい病院を目指し努力して参ります。今年度も「クローバー」のご愛読、よろしくお願ひいたします。

(M・S)

